

新しいアメリカ大統領に相對する、新しい世界平和の推進

今日お伝えするのは、「新しいアメリカ大統領に相對する、新しい世界平和の推進」です。皆さんも恐らく私と同じだと思いますが、ここ数年の間の、中東平和に対する“あくなき探求”を追っておられるでしょう。多くの大統領達が試みては失敗し、世界の指導者たちが試みては失敗し、2017 年の現在、この中東和平への探求は、未だ続いています。要はイスラエル国家の誕生以来、サタンが戦争によってイスラエルを滅ぼそうとして失敗し、その次の手段として、現在彼は、平和によってイスラエルを滅ぼそうとしているのです。今回祈りつつ、今日の預言アップデートの準備をしていて、主が導かれた方向は、「イスラエルの平和の推進。」です。その目的は、イスラエルの破滅です。この理由から、私は次の主張を繰り返したいと思います。

「この地球規模の和平推進は、反キリスト登場への道を整える」

2017 年の現在、我々は“平和と安全”に相なって「突如の滅び」に向かって、ものすごいスピードで突進していると言えるでしょう。

まずは、この“新しい中東和平推進”に関するヨルダン王と、トランプの顧問との会談について、この Ynet News の報道から始めたいと思います。

——ヨルダンの王アブドゥッラー 2 世と、トランプ大統領の大使が、イスラエル—パレスチナ和平交渉成立に向けて、長らく停滞している動きを復活させようとして対話した。ヨルダンのアメリカ大使館によると、アブドゥッラーは、ジェイソン・グリーンブラット大使にこう告げた。（よく聞いてください。）“二国解決策”をもとに、イスラエル—パレスチナ対立を終わらせる為なら、彼は「可能な限りどんな事でもする。」——

木曜日（3/30）の Arutz Sheva がヨルダン王の発言を報道しました。

——「二国解決案による、パレスチナにとっての正義と総括的な解決なくしては、あの地域に**平和も安定も、平和も安全もない。**」アブドゥッラー王は続けて言います。「ヨルダンは、歴代エルサレムにおいてのイスラム聖地の守り役として、アル=アクサー・モスク（岩のドーム）に傷がつくような事は、いかなる事も許さない。イスラエルの一方的な動きは、結果として、将来この地域に“大惨事”を招くだろう。」と彼は警告した。アラブの指導者たちは水曜日のサミットで発表した文書で告げた。「アラブ界は、2002 年のアラブ平和構想を元に、イスラエルとの平和協議を推進する用意が出来ている。」——

次に、Times of Israel の記事を引用します。

——ベニヤミン・ネタニヤフ首相は、平和の為に、2002 年のアラブ和平構想は見ておらず、近隣のアラブとの平和の実現には、むしろ新しいアメリカ大統領に注目している。ネタニヤフは、ドナルド・トランプ大統領の主任顧問と、エルサレムで 5 時間に渡って会談し、その中で、継続して“**平和と安全**”の目標を遂げる為の希望をもって、イスラエルの入植活動について話し合った。——

記事は続けて、トランプのマフムード・アッバースとの初の電話での対話について伝えており、その中で彼は、ホワイトハウスに招待しました。

——アッバースは、トランプとの電話での会話は建設的であったと言い、アメリカ大統領は、和平プロセスへの全面的な約束を“承認”したと発言。「我々は、全員に“安全と安定”をもたらす、総括的な“平和”達成のために、続けてトランプと協力していく。」と付け加えた。——

毎年恒例の APEC（アジア太平洋経済協力）政策会議で、ネタニヤフは、和平プロセスにおいてトランプと共に協力するとの意志を再度伝えました。簡単に記事を引用します。

——エルサレムから、衛星中継を通じてネタニヤフは、先月ホワイトハウスで行われたドナルド・トランプ大統領との、格別なもてなしの中で行われた会談について語った。そして、両者の関係が、バラク・オバマ前大統領とのものとは、比べものにならないほど良好である事を暗示した。「イスラエルは、パレスチナおよび、全近隣諸国との平和を向上させる為、トランプ大統領と共に尽力する事を約束する。」と彼は言った。「ユダヤ人とアラブ人は、恐らく最近復活した和平推進には賛成するだろう。しかし、彼らはその過程において、さらに言うなら誰がそれを導くかにおいては、絶対に同意しない。」——

Jerusalem Post が報道したのは、

——イスラエル国防相アヴィグドール・リーベルマンは、“新しい平和推進”が進行中であると示唆。彼はそれを、自身のフェイスブックに投稿した。「新しい平和推進が、そこまで来ている。」——

そして、それは EU に入りました。この Times of Israel の記事によれば、

——ヨーロッパ連合の議長は、イスラエル—パレスチナ問題の解決は、引き続き“最優先事項”である。そして、双方の間で和平協議を破棄しようとする、アメリカの大使の考えを歓迎した。——

しかしながら、記事はさらに続けて伝えています。

——パレスチナ執行委員会議長のマフムード・アッバースと、EU 外国政策主任との会談の後、報道陣に繰り返し報告した。EU は、イスラエルの西岸地区入植には、原則的に反対し、これを国際法において不法とみなす。——

驚きませんが。もし、これでまだ足りないなら次に、アッバースが続けて言っています。

——入植活動と、“パレスチナの土地”の没収の継続は、アパルトヘイト制度の一か国の状況を生み出す。この抑圧と占拠は“安全と平和”をもたらさない。“平和と安全”それは、唯一正義と平等、近隣諸国との良好な関係によってのみ、もたらされる。——

この辺りで向きを変えて、これらすべてを、預言と結び付けていきたいと思います。

まず第一に、前置きとして言っておきたいのは、このいわゆる“二国解決案”というのは、ヒトラーの「最終解決策」の再梱包だという事です。全く同じ内容で、ただ包装紙が新しくなっただけです。「最終解決策」が「二国解決策」と呼ばれているだけです。ヤーセル・アラファート（パレスチナ自治政府初代大統領）は、生前アメリカ合衆国にやって来て、ビル・クリントン元大統領から大歓迎を受けました。そして彼は、ア

メロカにいる間は、「我々は平和を求めている」と言い、あちらに帰ってから、彼はラマラに行き、アラブ語で言いました。「我々にとっての平和とは、イスラエルの破滅を意味している。」

それを知るには、イスラムの歴史を見れば十分でしょう。モハメッドから始まって、次にサラディン。彼らは敵を破滅させるために、敵と平和を結ぶのです。これは教科書通りと言って良いでしょう。「相手を打ち負かす事が出来ないなら、相手に加われ。」戦争で破滅させれないなら、平和で破滅させろ。外側から破壊できないなら、平和を結んで、そして内側から破滅させるのだ。

特に順番に意味はありませんが、このユダヤ人と、パレスチナ人が隣り合って平和に安全に暮らす「二国解決案」を叫ぶ、悪魔的な探求に関して、“誰”が、“どのように”、“何”を、“どこ”で、その理由をお話したいと思います。私個人的には、今回は時間の問題だと強く思います。

「出ましたよ、先生。先生はずっと聖書預言を言い続けて…」と思いますか？
これは自分で自分に言っているのです、お付き合い下さい。

「2006年から、聖書預言について言い続けて、私の計算が正しければ2006年以来11年間、毎週毎週ずっと同じことを言い続けている。」「しかも、“時間の問題だ！”とまで言うても、その通りですよ。もう時間の問題です。ただ今回は違います。
「どういう意味だ？」

考えてみてください。私はいつも「預言には賞味期限がある。」と伝えていますが、そうれはどのような意味かと言えば、全世界の指導者や、国々のイスラエルに対する攻撃態勢には、有効期限があるのです。5年前でさえ、現在のような配置にはついていませんでした。では、これから5年先を見てください。全ての事が、現在のようにものすごい早さで動いているとして、彼らがまだ現在と同じ位置についているというシナリオが想像できますか？

では、技術についても考えてみてください。技術だけを見ても、技術がどれほど進歩したかを考えてみましょう。5年単位でなく1年の間にです。たった1年で、技術がどれほど進歩したか。それを踏まえて、1年先、2年先、3年先シナリオが当てはまらなくなるのに、どれほど必要ですか？ ロシアとイランが、今後3年、4年、5年先、現在の位置にいると思いますか？アメリカはどうですか？今日起こった事は、非常に興味深いと思いました。この新しい和平推進から見て、今回は、時間の問題だと私は強く思います。突如として、最終的な破滅となるでしょう。

第一に、“どのように”それが起こるのか？

ダニエル 8：25 です。彼（反キリスト）の政策を通して、です。どんな政策か？和平政策です。ダニエルの預言を聞いてください。

“彼は悪巧み（policy:政策）によって欺きをその手で成功させ、心は高ぶり、不意に（by peace:平和によって 英語キングジェームズ訳）多くの人を滅ぼし、——”

戦争ではなく、「平和によって」です。

“——『君の君』(イエス・キリスト)に向かって立ちあがる。しかし、人手によらずに、彼は砕かれる。”
(ダニエル 8 : 25)

これがその方法です。ダニエル 9 : 27 です。彼(反キリスト)は、“shall confirm:承認する(キングジェームズ訳)”と書かれており、この言葉がまた出てきました！confirm:承認するという事は、すでに存在していて、承認されずに来たこと、強制されなかった事が、ここへ来て承認される事を暗示しているのです。彼が、それを承認、強制するのです。人によっては、これは強制的に行われるという人もいます。イスラエルは、強制的にこの和平同意に合意させられると。

“一週の間、多くの者と堅い**契約**を結び(confirm:承認する)、——”(ダニエル 9 : 27)

一週とは、7年間です。7年の大患難です。

“(しかし患難の)半週の間、(反キリストは、新しく建てられた神殿での)いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。”
(ダニエル 9:27)

悪の計画とは何か？私は、エゼキエル 38:10-12 だと思います。読んでみましょう。

“神である主はこう仰せられる。その日には、あなたの心にさまざまな思いが浮かぶ。あなたは悪巧みを設け、こう言おう。『私は城壁のない町々の国に攻め上り、**安心**して住んでいる**平和**な国に侵入しよう。彼らはみな、城壁もかんぬきも門もない所に住んでいる。』あなたは物を分捕り、獲物をかすめ奪い、今は人の住むようになった廃墟や、国々から集められ、その国の中心に住み、家畜と財産を持っている民に向かって、あなたの腕力をふるおうとする。”(エゼキエル 38:10-12)

言い換えれば、イスラエルは自信をもって、平和で安全、繁栄の中に暮らしているという事です。現在、イスラエルがどれほど繁栄しているか、ご存知ですか？これまでに、私たちとイスラエルに行ったことのある方は知っていると思いますが、イスラエルは、空気から飲料水を作る事ができるのです。空気からですよ。神の選民です。これをアラブ人にしてくれたらと思いますが、でも、神はこれをユダヤ人にされたのです。それは構いません。でも、よく考えてみてください。彼らは、飲料水を空気から作れるのです！！空気からですよ！みなさん、携帯はお持ちですよ？あなたの携帯、私の携帯、この技術がどこのものかご存知ですか？イスラエルです。イスラエル。これが“何”です。

次に“どこ”か。ゼカリヤ 12:1-3、

“宣告。イスラエルについての主のことば。——天を張り、地の基を定め、人の霊をその中に造られた方、主の御告げ——見よ。わたしはエルサレムを、その回りのすべての国々の民をよろめかす杯とする。ユダ

についてもそうなる。エルサレムの包囲されるときに。その日、わたしはエルサレムを、すべての国々の民にとって重い石とする。すべてそれをつづぐ者は、ひどく傷を受ける。地のすべての国々は、それに向かって集まって来よう。”（ゼカリヤ12:1-3）

言い換えれば、神が宣言されているのです。世界中が、エルサレムについて、妄想に憑りつかれ、酔いしれるように神が仕向けられる。彼らは夢中になって、重い境界石を動かし、そこを分断しようとするのです。その為に、このサタンの“二国解決策”が生み出された。これはゼカリヤ12章です。今、起こっています。今、こうしている間にも、それが成就しつつあるのです。

では“いつ”か。その日、その時が分かるか？もちろん知りたいですよ。「その日、その時がいつであるかは、誰も知らない」（マタイ24:36）これはユダヤのことわざです。時が近い事は分かります。でも、それが何時かは、誰にも分かりません。ただ、私たちに分かっているのは、それが起こるのは、

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、——”（第一テサロニケ5:3）

私の事を、なんと言ってくれても構いません。それでも、みんな「平和だ。安全だ。」と言っていないか？

ところで、私はこのアップデートを準備するのに、大量の記事や報道を読まなくてはならず、それはそれは何時間もかかるのです。一回の預言アップデートの準備をするのに、まる4日かかります。そして、これが実に骨が折れるのです。時間の関係で、どれを伝えどれを除くか、決めないといけませんから。なぜこんな事をいうかと言えば、私が今日、みなさんにお伝えしたのは、私の不在中に起こったすべての事の内、ほんの一部です。ともかく、全てに目を通して、どれを伝えるか、選ばないといけないのです。突然の滅びは起こります。

“人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦の産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。”（第一テサロニケ5:3）

言い換えれば、この「平和と安全」の探求、人々がこう言っている時が、突如の滅びの襲いかかる時なのです。そして、みんなこれを言っています。という事は、突如の滅びが襲うとは思いませんか？私は、まさにそうだと思います。この日に関するこの聖句の中の、キーワードです。パウロは続けて言っています。“彼ら”と“私たち”を使い分けて言っているのです。

“生き残っている**私たち**が、……拳に引き上げられ——、”（第一テサロニケ4:17）

“私たち”は逃れ、“彼ら”は逃れない。「妊婦の産みの痛み」に、なぞらえているのが、興味深いですよね。それに関しては、後ほどお話しします。

最後の“なぜ”についてです。私から見れば、“なぜ”の答えはエレミヤ書 8:11 です。預言者エレミヤはこう書いています。

“彼らは、わたしの民の娘の傷を手軽にいやし、平安がないのに、『平安だ、平安だ。』と言っている。”
(エレミヤ 8:11)

言い換えれば、“彼ら”が「平和だ、安全だ」と言っている時に、“彼ら”に、突然の滅びが襲いかかる理由は、それは、彼らがそれを深刻に受け止めないからです。しかもこれは、クリスチャンでも、ノンクリスチャンと似たようなものです。彼らは、警鐘を鳴らす代わりに、「平和だ！平和だ！」と言っている。「全て大丈夫。目覚ましを止めて、また寝よう。」「大したことはない。バンドエイドを張っておけ。」と。「自分の教会でも、終末について教えてくれたら…」と、心底願っている人たちから、私の所に数えきれないほどの E メールや、コメントが届いています。教会が教えていないのです。誰も、警鐘を鳴らしていない。考えてみてください。もし、私たちが何も知らずにいたらと。この教会は本当に祝福されていて、ここは実に祝福された教会です。私にとっては、この教会の牧師でいるとは、実に光栄な事です。しかし、別の場所ではキリストにおける私たちの兄弟姉妹が、今日教会に行き、教会の中に座り、現在彼らが聞いているメッセージとはこれです。「平和だ。平安だ。」「すべてうまく行っています。」「神は、あなたを愛していますよ。」もちろん、神は愛していますよ。ところで、神は皆さんの事が大好きですよ。覚えていますか？神は皆さんの事を愛しています。

「平和だ、平和だ」「また眠りなさい。」「再び眠りなさい。」と言っていませんか。

最後に、質問をして終わりたいと思います。物事がこれほどのスピードで動いているのを見て、我々の誰もが、自問すべきでしょう。質問とは、

“もし、この「新しい世界平和の推進」の名の元で起こっているこれらの全ての事が、“産みの苦しみ”のようだとすれば、今が、時間の問題だと思える主な理由は何ですか？”

つまり、出産の最中に例えて言えば、赤ちゃんは、出てきているのです。私は、家の子ども達が生まれた時、全て立ち会ったのです。正直に言えば、本当に大変でした。陣痛が始まれば、すぐに誰でも分かります。赤ちゃんは生まれる。誰にも止められません。「ちょっとここで、一旦止めて、お茶でも飲んでまた続けようか。」なんて、出来ません。産婦が産気づけば、赤ん坊は生まれてきます。とすれば同じように、私たちには分かりませんか？イエスが来られるということが。イエスが、マタイ 24 章で“産みの苦しみ”の例えを使われたのです。パウロは繰り返し使っています。「妊婦に産みの苦しみが臨むようなもの (第一テサロニケ 5:3)」だと。産みの苦しみは、痛みがどんどん増し、頻度をどんどん増しながらやって来るのです。世の中 (子宮口) がほぼ 10 cm開いているとしたら、つまりそれは、男性のみなさんなら、その意味をご存知でしょう。私は知りたくなかったけど、女性の解剖学 (生体構造) を、必要以上に知ってしまった。

これまでに一度も、イエス・キリストの御名を呼び求めて救われていない方に、その機会を設けたいと思います。オンラインチャーチの方にお伝えします。もし、あなたがこれをご覧になっているなら、神があ

なたをここに導かれた理由があるはずで、今日、あなたが耳にしたことを通して、神が語りかけられたかもしれません。これから、福音をとてシンプルなお伝えします。私が「救いの ABC」をお伝えするのは、子供にでも分かるほど、簡単だからです。マタイ 18:3 でイエスは言われました。

“まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。” (マタイ 18:3)

キリストに立ち返るといのは、それほどシンプルで、子供にでも分かるのです。それはこうです。

A=Admit (認める、気づく)

自分が罪人である事を認める。ローマ書にはすべての人が罪を犯したと書いてあります。

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず” (ローマ 3:23)
“義人はいない。ひとりもない。” (ローマ 3:10)

義人はイエス・キリスト、ただ一人です。私たちは皆、罪人として生まれたのです。だから、私たちは皆、新しく生まれなければならないのです。

B=Believe (信じる)

心で信じるのです。

“あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9)

C=Call, Confess (呼ぶ、告白する)

そして、告白する、または呼ぶ。

“口で告白して救われるのです。” (ローマ 10:10)

「先生、そんなの簡単すぎます！」と思いませんか？それが問題なのです。「簡単すぎる」。残念なことに、シンプルなイエス・キリストを人間が無駄に複雑化してしまっているのです。それは、こんなにシンプルなのです。自分が罪人であることを認める。自分が罪を犯したために、神の完璧な義の基準に立つことが出来ないという事を、認めるのです。もし、自分が罪人であると認めれば、次に、あなたには救い主が必要だということが分かります。全ての人が罪を犯したなら、あなたも罪を犯したし、私も罪を犯したのです。だから、私も救い主が必要なのです。そして私が、イエス・キリストを信頼して、信じて、私の口で告白して、彼の御名を呼び求めるなら、ローマ書 10:13 にはこうあります。

“主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。” (ローマ 10 : 13)

これまでに、一度も主の御名を呼び求めた事の無い人、これを読んでいるあなた、どうか今日それをしてください。今は救いの日です（第二コリント 6:2）。これ以上、先延ばしにしないでください。主の御名を呼び求めてください。

祈りましょう。天のお父様。本当にありがとうございます。預言をありがとうございます。あなたは、みことばの中で詳細を伝えてくださいました。あなたが教会の為に戻って来られる前、終わりの時、世がどのような状態にあるか。主よ。今日私たちは、人々が「平和だ。安全だ。」というと伝えた、たった一つの預言を見ただけですが、全くその通りの事を皆が言っています。その時、突然の滅びが襲います。主よ。どうか、私が牧らせていただいている、この素晴らしい教会、またはこれをインターネットで観ている人の中に、確信が持てない人、準備が出来ていない人が居るなら、どうか今日、彼らがあなたに立ち返り、あなたの御名を呼び求め、あなたに信頼を置きますように。そしてヨハネが言った通り、彼らも永遠の命を持っている事が分かりますように。主よ、感謝します。イエスの御名によって。アーメン。

聖餐式

ルカの福音書 22 章で、私たちに命じられています。私たちが「最後の晩餐」と呼ぶものです。

“さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスと一緒に席についた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒に、この過ぎ越しの食事をすることをどんなに望んでいたことか。あなたがたに言いますが、過ぎ越しが神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過ぎ越しの食事をすることはありません。」そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」（ルカ 22:14-19）

ここ 6~8 週間、2 か月の間に、主が私に強く働きかけておられるのは、「赦しの力」です。赦しの力。私たちが「主の祈り」と呼ぶものは、実際には主の祈りではなく、弟子たちが主にお願した時に、主が祈り方を教えられたものです。

“だから、こう祈りなさい。『天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。御国が来ますように。』（マタイ 6:9-10）

そして、その中で主は、こう祈りなさいと言われます。

“私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。”
（マタイ 6:12）

私がまだ救われて間もないころ、これでとても葛藤したのです。なぜかと言うと、私は自分が他者を許さなければ、神は私を許してくれないと思ったからです。ここはそういう意味でしょうか？そうではありません。その理由を説明します。イエスが言われているのは、このようにすれば、あなたも他人を許せるようになる。それは、あなたがすでに許されたからです。だからです。イエスが「敵の為に祈りなさい。」と言われたのは、ご存知ですね？あなたを蔑み、利用する者の為に祈りなさい。あなたについて悪く言う者の為に、祈りなさい。彼らの為に祈りなさい。

「私は祈っています。」

「神よ。彼らを殺してください。」

お疲れ様です。でも、そのようには働きませんね。

どうして、主は「敵の為に祈れ」と言われるか、分かりますか？それは、自分が祈っている相手に対して怒りを持ち続ける事は、とても難しいからです。おそらく、始めは容易ではないでしょう。あなたが祈っている人に対して、怒りを持ち続けようと思っても、出来ないのです。

「でも、あの人たちは許して欲しいとも言わないじゃないか！」と思いますか？言わなくてもいいのです。

「いや、彼らは許しを乞うべきだ！」そうでしょうか？彼らが許しを乞わなくても、あなたは、彼らを許すことが出来るのです。神があなたを許してくれたのと同じ方法で、そうするのです。もう一歩踏み込んで、こう言いましょ。こう考えてみてください。あなたが、彼らに対して許した以上に、神はあなたの事を許しておられる。みなさん、それぞれあると思いますが、本当に核心まで行きたいですか？神は、あなたの事をこれだけ許したとして、彼らがあなたに対してした事は、どれほどだと思いますか？私たちは、今日、それを祝っているのです。イエスは十字架にかかり、主の体は私たちの為に、私たちの代わりに砕かれたのです。だから、私たちはすべての罪が許されたのです。

主よ。感謝します。主よ、私たちの為に砕かれた、あなたの体に感謝します。主よ、私たちの全ての罪を許して下さりありがとうございます。主よ、私たちが許された事を覚えてこれを行えるようにして下さり、感謝します。ありがとうございます。

同じように、ルカは続けて書いています。

“食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、私の血による新しい契約です。」”（ルカ 22:20）

私たちは、血潮が持つ力について語り、歌いますね。血潮の持つ力。この杯が象徴する、血潮の力がどれほどの威力か、みなさんはご存知ですか？

“たといあなたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。”（イザヤ 1:18）

それほどの威力なのです。とても威力があるのです。

“東が西から遠く離れているように、私たちのそむきの罪を私たちから遠く離される。”(詩編 103:12)

これが、北から南でなくて良かったと思いませんか？北から南だと、南極にぶつかってあなたの所に戻って来る。でも、東から西なら無限です。それぐらい、この血潮には威力があるのです。私たちの罪を、東から西ぐらいに離すことが出来る。

第一ヨハネ 1:9 は、クリスチャンの石鹸として、度々引用されますが、私はこれが大好きです。

“もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。”(第一ヨハネ 1:9)

これを今日、私たちは祝っているのです。私たちの全ての罪の赦しと、きよめです。

天のお父様。私たちは、あなたに本当に感謝しています。私たちが、あなたを覚えてこれを行えるようにして下さった事を感謝します。主よ。私たちは赦された事を感謝します。私たちの罪の全額を贖って下さった事に感謝します。そして、あなたが私たちを赦して下さったから、私たちも、他の人を赦すことが出来るのです。主よ、その事に感謝します。主よ。今この中に、恨みや憎しみを抱えている人が居るなら、今日のこの聖餐の食卓で、彼らがそれを十字架の下に置くようにと祈ります。その憎しみが、根を張る事のないように、また、ヘブル人への手紙にあるように、多くの人を汚しませんように(ヘブル 12:15)。これが基準点となりますように。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、みどりさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい